

## 点検・評価の様式（手引版雛形）

政府統計コード	00550200
基幹・一般の別（選択記入）	基幹統計調査
調査の名称	経済産業省生産動態統計調査
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択（複数選択可）	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="radio"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="radio"/> 月例経済報告に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="radio"/> その他
特記事項	

① 調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 (整合している場合チェック)	<ul style="list-style-type: none"> <li>☐ 1.調査の目的</li> <li>☐ 2.調査対象の範囲 ※</li> <li>☐ 3.報告者数等※ <span style="float: right;">{ 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等 }</span></li> <li>☐ 4.報告事項とその基準期日 ※ <span style="float: right;">{ 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 }</span></li> <li>☐ 5.報告の方法 ※ <span style="float: right;">{ 報告を求めるために用いる方法 }</span></li> <li>☐ 6.報告を求める期間 ※</li> <li>☐ 7.集計事項 ※</li> <li>☐ 8.結果の公表方法及び期日 ※ <span style="float: right;">{ 調査結果の公表の方法及び期日 }</span></li> <li>☐ 9.使用する統計基準</li> <li>☐ 10.調査票情報の保存 <span style="float: right;">{ 調査票情報の保存期間及び保存責任者 }</span></li> <li>☐ 11.立入検査 <span style="float: right;">{ 基幹統計調査のみ }</span></li> </ul>	全項目整合
-----------------------------	---	-------

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討(予定)している事項がある場合はシート②で記載

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の整備・共有の状況及び実際の業務の実施状況の確認等	<input type="checkbox"/> 課題なし <input type="checkbox"/> 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む） <input type="checkbox"/> その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）
-----------------------------------	--

	見直し・改善の概要(自由記入)	見直し・改善の内容(左記の類型) (該当するものを選択、複数選択可能)	見直し・改善の対応方法・手段 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)
記入欄 No. 1	令和6年度に実施した統計作成プロセス診断における助言を踏まえ、担当課室としての組織文化の統合については、各班との実務ベースでの検討の場を増やし、周知・理解を推進することで、業務の統一化を図って行きたい。また、委託業者と職員とのやりとりに用いる連絡表について、これまで蓄積されてきた情報を生かし情報を構造化することで、よりスムーズにかつ有効活用したい。	<input type="checkbox"/> 調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 <input type="checkbox"/> プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	<input type="checkbox"/> 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し <input type="checkbox"/> その他	対応中/対応予定
記入欄 No. 2	調査計画変更について 令和8年1月分公表から、統計利用者の利便性の向上及び統計作成に係る公表ミスの削減を図るため速報及び確報の公表様式の見直しを行う予定。 具体的には、速報及び確報の様式の統一化（確報様式を13カ月から12カ月とし、その様式を速報及び年報の様式にも適用）する予定である。速報の公表に関しては、機械判読が可能な形式に修正するとともに業種別の公表から、業種別を構成している調査対象品目ごとの公表へと変更する。 令和8年に決定予定の「統一基準」で令和9年調査に向けた調査対象品目の見直しを行う。また、109種類ある調査票の様式について、記入者負担の軽減等を図りながら、整理・類型化により、様式の統合を行う予定。	<input type="checkbox"/> 調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	<input type="checkbox"/> 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定

### ③ 必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況	達成精度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 確報時調査票回収率92.2%以上を目標</li> <li>・ 年間補正時調査票回収率94.2%以上を目標</li> </ul>	委託契約時	2023年調査 ・ 確報時 94.6% ・ 年間補正時 95.1%	2022年調査 ・ 確報時 94.3% ・ 年間補正時 94.9%	2021年調査 ・ 確報時 94.2% ・ 年間補正時 94.9%
	○ 回収率・回答率					
	回収調査票数					
	カバレッジ					
	その他					
	設定なし					